

米村優人

プロフィール

美術家。1996年大阪府生まれ。2019年、京都造形芸術大学(現 京都芸術大学)美術工芸学科総合造形コース卒業。京都を拠点に活動。

神話上の神々などといった人智を超えた圧倒的な存在や、自身の個人的経験に基づいた特定の人物への執着や興味から、粘度、石、FRP など多様な素材を用い、立体作品を中心に制作を行なっている。物理的な関係性で語られる独自の物語の創出しつつ、痛みや恐れ、憧れ、畏怖の念等の内的な感情も内包することを模索している。

CV

主な個展

「BAROM(あるいは幾つかの長い話)」(京都市京セラ美術館、京都、2023年)

「BARORORM SQUAD/1人でも立ってられるって！」(NEUTRAL、京都、2022年)

「我(WE)」(COHJU contemporary art、京都、2022年)

「ART SCRAMBLE」(グランフロント大阪、2021年)など

グループ展

「真実はそれが真実であるからでなく有意義であるから、我々の生活に価値があるのである」(EUKARYOTE、東京、2024)

「motivated bodies」(駒込倉庫、東京、2024年)など